

【テーマ2】 国立大学法人兵庫教育大学

「新しい時代に対応する学校管理職等研修の試行」

調査の概要

◆課題認識

- 校長をはじめとする学校職員が、「民意」の反映をより重視し、学校における組織マネジメントをいわゆる「企業型」から「公務員型」に変えていくことで新しい時代に対応した学校づくりに取り組む礎となる研修プログラムを作成する必要がある。

◆調査研究の目的

- 学校管理職向けの対人面の能力を育成するプログラムの開発
- 教員向けの対課題面の能力を育成するプログラムの開発
- 全国各地の教育委員会等のニーズに應えるための研修講師の育成

◆調査対象

①学校管理職リーダーシッププログラム

(各地域等の経費負担による研修実施を含む)

- 北海道立教育研究所（校長経験者 21人）
- 函館市（新採用校長，希望する校長，全教頭 21人）
- 新潟市（校長，教頭 32人）
- さいたま市（管理職名簿登載者 39人）
- 沖縄県北部教育研修センター（管理職等 17人）

②教員用マネジメントプログラム

- 大津市（小・中教員，指導主事 8人）
- 延岡市（教務主任，中堅教職員 36人）

③学校管理職マネジメントプログラム

(各地域等の経費負担による研修実施を含む)

- 沖縄県北部教育研修センター
- 函館市教育委員会
- 大津市教育委センター
- 福井県教育総合研究所
- 浜松市教育センター

取組のポイント・成果

◆取組のポイント

①学校管理職リーダーシッププログラムの構築

「学校教育目標」の理念浸透を主眼におきながら、学校経営に必要とされる**対人面の能力を育成するプログラム**を開発・試行する。

②教員用マネジメントプログラムの構築

学校管理職マネジメントプログラムを応用し、保護者や地域の情報を収集・分析する**対課題面の能力を育成するプログラム**を開発・試行する。（学級経営にマネジメントの発想を取り入れる）

③プログラムの質向上と教育委員会等への支援

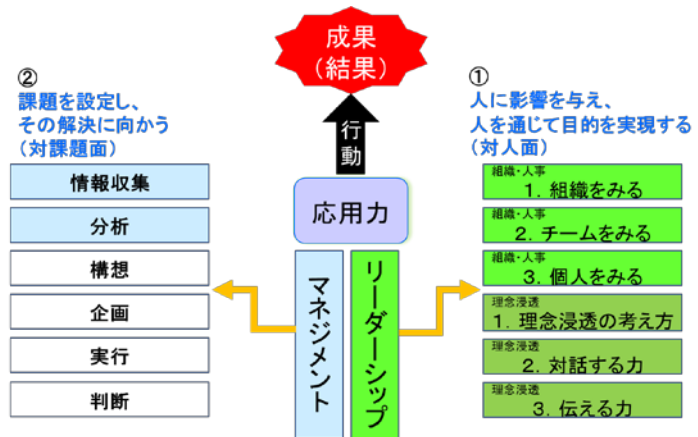
民間教育企業のノウハウを活用し、教員育成指標を踏まえた人材育成の一助となるようなプログラムの質向上

④研修講師の育成

実務者を中心としたプログラム開発と並行し、講師スキルの向上と**人材バンク的なネットワークの構築**

◆成果

- 学校管理職および教員の「公務員型」マネジメントに繋がる能力の育成
- 研修プログラムの開発，修正と講師スキルの向上
- 人材バンク的なネットワークの構築



今後の課題

◆研修の継続受講への支援

- 学校管理職リーダーシッププログラムの構築（「理念浸透」まで）および修正
- 教員マネジメントプログラムの構築（「導入」プログラムと「情報収集」から「構想」まで）
- 研修講師のスキルのさらなる向上
 - 受講者自身の振り返りと行動変容への見取り